



黒小だより

二海郡八雲町黒岩212番地 Tel0137-68-2013 FAX 0137-68-2018
E-mail : kuroiwa-es@town.yakumo.hokkaido.jp
Web Page : <http://www2.town.yakumo.hokkaido.jp/~kuroiwa-es/>

学校教育目標
強い子ども
考える子ども
働く子ども
明るい子ども

黒岩小学校に集う

八雲町立黒岩小学校長 長内 克磨

黒岩小学校には、「生き生きふれあい活動～黒岩小学校に行ってみよう!～」と、いう活動が受け継がれてきました。その趣旨は、「子どもたちと、地域の方々との交流」にあります。

9月18日(水)、その活動の一環として「孫の勉強を見る会」を開催しました。

3時間目は子どもたちの授業参観、4時間目は玉入れやボールなどを使っての軽スポーツでの交流、そして希望者による給食試食会と続きました。

参加していただいたのは、子どもたちの「おじいちゃん、おばあちゃん」だけではなく、地域の「おばあちゃん」たちの参加もいただきました。参加総数は、児童数のなんと2倍!子どもたちも、参加してくださった方々も、笑顔、笑顔の楽しい交流の場になりました。



4年生は国語の学習を、5・6年生は家庭科の学習を参観



くでは笑顔がはじけていました



給食は4年生のリクエストメニュー

6月の運動会、8月のお祭りに続いて、大切な交流の場になりました。前期も終盤を迎え、このような活動も、学芸会や餅つき大会など残りもわずかです。

黒岩小学校の校史は閉じて、黒岩にまだまだ未来の力となる子どもたちがいる限り、地域の方々との絆は続きます。

「生き生きふれあい活動」は、11月の学芸会、そして12月の餅つき集会へと続きます。

地域の方々の熱い思いに包まれて、黒岩小学校があるのだという思いと、そのことを子どもたちにも理解してほしいという思いがあります。

黒岩小学校の残された半年の歴史を、黒岩の地域の方々とともに子どもたちも、そして私たち教職員も歩みを刻んでいく所存です。

10月の主な行事予定

1日(火)渡島複式研究大会 (臨時休業)
2日(水)安全点検・マラソン大会・個人面談
3日(木)マラソン大会予備日
4日(金)AET (5/6年外国語)
5・6日(土・日)全道PTA 北斗大会
9日(水)職員会議
10日(木)町研サークル (午前授業-給食有り)
11日(金)前期終業式 (午前授業-給食無し)
17日(木)後期始業式・児童会任命式

18日(金)AET (5/6年外国語)
21日(月)学芸会特別時間割開始
22日(月)視力検査
23日(水)校内研修日
24日(木)八雲町教育研究集会 (臨時休業)
25日(金)AET (5/6年外国語)
28日(月)児童会活動
30日(水)児童総会



宿泊学習に行ってきました

9月25・26日、1泊2日の日程で、森町にある「ネイパル森」に宿泊学習に行ってきました。本来は、5年生が対象の行事なのですが、小規模校では全校児童が参加することもあります。この日は、熊石地区の関内(全校)・泊川(5・6年)小学校も合同で宿泊学習に来ていました。初日は、あいにくの雨模様で、残念ながら予定されていたカヌー体験や、キャンプファイヤーはできませんでした。代わりに、マイ箸作りや、キャンドルサービスなどの体験を楽しく行いました。2日目は、前日とは打って変わった好天に恵まれ、10人乗りカヌーを楽しむことができました。子どもたちは、自分たち決めた約束を守り、去年の課題とされていた時間を守って行動する事もしっかり行うことができました。心に残る、宿泊学習になったのではないのでしょうか。



マイ箸作り



いただきま〜す



絶好のカヌー日和

税金って大事だね

9月10日(火)、「租税教室」が実施されました。当日は、八雲町・長万部町の税務担当者の方々も研修を兼ねながら参観しました。

税金がなくなったら、日常使っている道路さえも横断できなくなるなど、税金が日常生活の気がつかない、細かいところまで使われているという内容のビデオなども見ながら、税の大切さを学びました。



全国学力・学習状況調査から

先月末、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

本校の児童は、生活習慣や各教科への関心などは全国平均を大きく上回っています。反面、「自尊感情」については、学習点よりも大きく下回っています。「自尊感情」とは、「自分には価値があり尊敬されるべき人間であると思える感情のこと」で、言い換えると「劣等感、消極性、無力感」を持っているわけです。

日本の子ども全体が、世界の子どもに比較しても低いとされているところです。

悪いところを叱るのではなく、良いところを褒める。子どもの悩みや失敗を「そうなんだ」と寄り添いながら聞いてやる、努力の結果よりも、努力した行為を褒める…それを高めるにはいろいろな方法が考えられます。このことについては、後日の学校通信などで少し詳しく述べていきます。